

## 令和5年度（2023年度）宝塚市人権教育推進委員会（概要）

会議名	令和5年度（2023年度）第8回 宝塚市人権教育推進委員会
日時	令和6年（2024年）3月 4日（月）13：30～15：30
場所	宝塚市立中央公民館 210学習室
出席数	■ 内田委員   □ 住吉委員   ■ 平山委員   ■ 後藤委員 ■ 岩室委員   ■ 谷添委員   ■ 奥委員   ■ 藤井委員 ■ 菅委員   ■ 和久委員   ■ 加藤委員   □ 石井委員 ■ 岩崎委員   ■ 山下委員   ■ 山本委員   (■出席/□欠席)
傍聴者	0名

- 1 配布資料の確認
- 2 委員長あいさつ
- 3 教職員の人権意識調査について
- 4 人権パンフレットの改訂について

事務局：本日傍聴人はありません。それでは和久委員長よろしくお願いたします。

委員長：世間ではハラスメントの問題がいろいろ起こっていますが、何か考えてみないといけないと思ったりします。新型コロナウイルスとインフルエンザが手を結んで人類に挑戦してきていることに腹立たしさを感じますが、学校現場でも学級閉鎖もあるような状況で大変だと思えます。今日は人権意識調査のことにパンフレットのことに話し合いをしますが、今日は第8回目で最終回になります。2年間みなさんにはお世話になりましたので、最後に思いを語ってもらえたらと思います。それでは、教職員の意識調査の所から入って行きたいと思います。内田先生よろしくお願いたします。

委員：みなさんのお手元に50ページほどの報告書の原案があります。今日は最終会ですので、みなさんからご意見をいただいて、最終のバージョンを確定させたいと思います。

(内田先生から報告書についての説明)

委員長：詳しく説明いただきましたが、何か聞きたいことがあればお願いたします。

委員：若年層の方の理解不足であるとか、あるいはそういう方々が研修を受けないといけないとか、あるいは部落問題については出会いを求めていかないといけないとか、私はまさしくこの通りだと思えます。

委員長：今は感想も含めて言っていたいただきましたが、質問や感想も含めて発言してください。

委員：出会いとか経験とかすごく大切だと、自分の経験でも思うのですが、今は教職のブラック化、多忙化で教職員になろうという、意欲のある若い人が減ってきているのが社会問題になっています。そういうあたりの話も総括の中に入れていくのかどうか、内田先生の意見も聞きながらあるいはこの委員会で話をして、そこまで比べていくべきかどうか課題があります。

委員：問22（人権学習を進める際に困っているのはどのようなことですか？）の回答の中に「人権学習の時間が取れない」、「学校園で取り組む体制が整っていない」がありますが、15%前後の人が選んでいますし、多くの30代の先生が「時間が取れない」を選んでいるのはリアリティがあります。今現場で奮闘されている30代くらいの先生の時間が取れないのは、これもある意味SOSだと思います。こういうことを解決していくのは教員だけでは無理なので、このあたりの事も書いておいてもいいですね。

委員：表とか数字で見るとすごく分かりやすくてびっくりしました。若い人は自信がないと言っておられるので、啓発パンフレットを参考にして、研修を深めていただけたら良いと思います。私が何年前に出会った若い先生が、「啓発パンフレットを見て研修しているんです。私は私学だったから部落問題学習とか履修してなくて、知識がないから」と言っていたのを聞きして、そういう自分に自信がないという方も就職してから、研修を重ねて自信を持ってこられたのかなと思います。

委員：小浜小学校校区ですけど、小学校5校、中学校2校の先生方で部落問題を中心に学習会をしています。年間3回行っていますが、学習することが面白くなってきたという先生もおられます。学校間格差がなく、全ての学校で系統立てて資料作りをすることが大切です。新しい先生が来てもそれを基に教えることができます。マニュアルばかりはどうかと思いますが、新任の先生が、ある程度これを見たらわかるかなというものがあるのは大事な事だと思います。

委員：学校の先生方が忙しいのは事実ですね。研修に行きたいと思っている先生もいますが、土日しか時間がないですね。私も40代の頃までは全く人権については何も知らなかったのですが、企業に同和問題が入ってきました。会社から研修に行きなさいという指示があつて、あちこち聞きに行きました。退職してからも宝塚市民として様々な人権課題の話の聞きに行きました。浅く広くですが、いろいろなことを知るといことが大切で、いろいろなことを知ることによって子どもや保護者から質問を受けた時に話ができるようになっていくわけです。先生方に時間的な余裕がないところにひとつの問題があるのではないかと思います。研修をするとすると夏休みや土日を利用することになると思います。あと一つは、宝塚市の職員の方々が年に1回人権文化センターで地域との交流学習会を行っています。だから学校の先生方にも3つの人権文化センターで学習会を持てば、部落問題についての知識が増えていくと思います。研修する場所、時間を先生方にも提供してあげないといけないと思います。

委員：宝塚の学校の先生方は地域懇談会といって、年に2回から3回地域と交流の学習会があります。

委員長：学校関係の先生や指導主事の方から何かご意見はありますか。

委員：内田先生からしっかり要点をお話いただきました。これを学校現場に返していく時に、校長と人権担当者を集めて内田先生から直接お話を聞かせていただきたい。

委員：中学校でも若い先生がどのように部落問題を系統立てて教えていけば良いのかをテーマに担当者会でも話し合ってきました。しかしなかなか進まない。最近は小学校・中学校が連携していくことが言われていますので、ほとんどのブロックで小学校1年生から中学校3年生まで、どんな教材があるのかを出し合うことができてきました。そういった物を参考にすれば、若い先生たちも系統立てた指導ができていくのではないかと思います。この結果を基に各学校園でしっかりやっていかないとはいけません。

事務局：1月に初任の先生方を集めて人権学習の研修を行いました。「マイクロアクション」についてグループワークを行いました。その中でとても前向きな感想をいただきました。先生方は知りたいというニーズをお持ちなので、来年度以降も初任者研修をしっかりとやっていながら、学校現場にもこういう話ができるように準備をしていく必要があると思いました。

委員長：私がよく分からないのは、スコアであるとか、度数です。よく読めば分かるのですが、もう少し勉強しないとイケませんので、この報告書を机の上に置いておきます。みなさんもどうぞ机の上に置いて見てください。次はこれを学校現場にどう返していくのか。事務局からご意見はありますか。

事務局：データを内田先生に分析して頂いているので、内田先生に講師をお願いしまして、管理職、人権担当を対象に、まずは研修会を行いたいと思います。

委員：アンケートに回答してない方もいますが、かなりの方が答えています。それをどのように生かしていくのか。アンケートを取っただけではダメで、それをしっかり分析して、学習の場を提供できれば、答えて良かったと思ってもらえると思います。

委員：これがしっかりとしたパンフレットなり冊子になれば良いかと思います。

委員：先生方は一人一台パソコンを持っていますので、データでみなさんが見られるようにするのが一つの方法です。

事務局：まずはペーパーで各学校に用意をして、併せて各先生はタブレットを持っていますので、データで見られる形を採っていきたいと思います。

委員：どれだけの先生がそのデータを見られているのか、そういう答えはもらえるのですか。一生懸命この委員会でアンケートを作ったわけですから、答えた人がこれをどれだけ見て、半年後でも一年後でもその感想をいただくということはしてもらいたいです。一方通行よりも良いと思います。

委員長：まずはこれを管理職と人権担当の先生にきちっと時間を十分取って内田先生に説明をしていただきたいと思います。その次に校内研修や講座を設けるなり、様々な形でできるだけ多くの先生方に内田先生の生の声を聞いてほしいと思います。それを市教委をお願いします。

委員長：では次にパンフレットについてです。今日が最終の校正になります。あとは個人的に気づかれたことは、来週の金曜日までに事務局に電話をしてください。よろしくお願ひします。数日前に私はパンフレットをもらっていますので、点検をしています。変更点を申し上げます。

(委員長よりパンフレットの変更点を説明)

委員長：今見られて気づいたところがありますか。

委員：P39の年表のことですが、令和5年にLGBT理解増進法が施行されたのは入れるべきだと思います。あと、地震のことが年表に入っていますが、人権とどう関連があるのでしょうか。

委員：地震とか災害の時には人権問題が噴出しやすいですね。いろんなデマも含めて。あるいは命の問題とか避難所の問題とか。それで入っているのかと解釈していました。

委員長：阪神淡路大震災と東日本大震災と今回の能登半島地震だけは入れておきましょう。教育に関連するからです。LGBT理解増進法は施行した年に入れておきましょう。あとは訂正など見つけられたら電話で対応をお願いします。

委員長：以上で終わりますが、みなさんには2年間大変お世話になりました。最後に一言ずつお話をさせていただけたらと思います。

委員：2年間人権教育推進委員として、人権教育、保育の推進に携わらせていただいて、私自身勉強に

なりました。啓発パンフレットを活用している人は結構多いです。学校ではここから選んで図書の本を買ったりしています。DVDも新しいものが出ているので委員会の方でも揃えていただきたいと思います。2年間ありがとうございました。

委員：2年間みなさんと一緒に勉強させていただきました。差別の現状がこうして分かってきましたしまだまだ課題がたくさんあると思っています。教職員の意識調査もこれを受けて、やはりもっともっと意識を高めていく現実が出てきました。多くの人権問題について、これからしっかりリードしていかないといけないと思っています。今後も学び続けていかないといけないと思っています。

委員：どうもお世話になりました。私は解放運動をしながら中心は教育でずっと活動してきましたし、差別は教育で解決できる。教育でしか解決できないと思っていますので、宝塚市はもっと教育にお金を出すべきだと思います。みなさん本当にありがとうございました。

委員：6年ぶりに2年間させていただきました。「懐かしいなあ、こんなことしてきたなあ」と思いながらの2年間でした。ありがとうございました。

委員：2年間いろいろお世話になり、たくさん勉強させていただきました。人権問題を研究されている方のお話を5、6年前に聞きましたが、その時にもやはり若い教員の人権意識が希薄だということを知りました。地域の学校でも見たり聞いたりする中で、そのような状況がありまして、今回意識調査を行った結果、やはり同じような状況が出てきているということにつきましては、よかったのかなと思います。これをフィードバックして現場の先生方の意識をもっと高めていただくようにお願いします。

委員：2年間ありがとうございました。ここでアンケートやパンフレットづくりについて、じっくりと考えたことは、すごく自分のためになりましたし、ブロック研や奈良へ研修に行かせていただいて、みなさんと一緒にいろいろ話をしながら勉強させていただいたことはとても有意義でした。これからも勉強を続けていきたいと思っていますので、また機会がありましたらいろいろ教えていただきたいと思っています。

委員：この推進委員会は出会いの場であったと思います。ここに参加していなければ、出会いの場にならなかったと思うので、そのことに感謝しています。本当にありがとうございました。

委員：2年間のうちの半分は自分の手術とか家の不幸で来られない日が増えて申し訳ありませんでした。この会なのですが、宝塚市は本当にレベルが高いと本当に思っています。だからこの公募の市民委員にはいろいろな方に来ていただきたいと思うのと同時に、事務局の方にもお願いなのですが、内田先生も言われていましたが、役割が人をつくるとか、取り組む人との出会いがすごく大事だと思うので、働く者が平日の昼間出てくるのはすごく難しいです。あとPTAは会長が出て来なくてもいいのではないかと思います。人権の担当者が代理で出てくれば良いと思います。子どもの教育の原点は家庭だと思います。家庭の教育がベースにあってはじめて学校で行うと思うので、できれば保護者の方にもこういう機会に参加していただきたいので、そのあたりは来年度提案していただきたいと思っています。ありがとうございました。

委員：推進委員を3期やっていますので、小学校を卒業するのと同じで、そろそろ卒業かと思いつつも私は高校の教員を長くやっていたので、自分史を振り返りながら、あらためてこういう場面があったなとか自分がステップアップできたなとかいうのがありまして、本当にいい勉強をさせていただきました。本当にありがとうございました。

委員：ありがとうございました。いろいろ勉強させていただきました。私がひとつ思うのは、調査はそれが社会調査である限り公共的な財だと思います。ですから、できることであれば調査をした

限りにおいて、フィードバックするという意味で、「見せてほしい」という人があればそれを拒否しないという態度が社会調査の本質だと思います。

委員：最初は2年前に宝塚市として教職員の意識を調べて次に生かしたいということで、私もいろいろなことを頼まれますけど、知りたいのは現状です。現場でどんなことが行われていて、何が課題なのかを知りたいわけで、そういうことであれば協力しますということでさせていただきました。みなさんにご意見をいただいたおかげで、何とか現状をしっかりと把握できたような形になりました。山本委員が言われたように結果をしっかりとフィードバックして、次の施策に生かしていけないと・・・どうしてもやり切った、それで満足・・・みたいになってしまうと一番まずいので、目的は人権同和教育をさらに発展させていくことですし、差別をなくしていくためにしっかりと生かしていくということが問われています。私も協力していきますが、全部の学校には行けないと思いますので、動画を撮って職場で見いただくこともできます。人の声でしっかりと伝えていくことが重要だと思いますので、引き続きお世話になると思いますよろしくお願いします。

委員：お世話になりました。いつもここは針の筵の気分で、本当に私がここに座っていいのかなという思いでいつも来させてもらっていました。何が自分で後悔するかというと、もっともって学生時代に勉強しておいたら・・・みなさんが発言されるたびに、あんなことも言いたかった、こんなことも言いたかったということはあるのですが、なかなか場慣れもしていませんし、しゃべるのも下手なので・・・思うようには言えなくて、間違ったことを言っていないか、反省することがあります。みなさんにまた教えていただきたいと思います。この2年間、本当を言うとこの1年間ここに座ったこと自体からしてすごく良い勉強をしたと思いました。ありがとうございました。

委員長：私の方から最後にお礼を申し上げたいと思います。この会で16年間お世話をさせていただきました。2008年に大西先生から交代しました。思い出しますが同対審答申を受けて財特法ができてそれが1997年に終わりました。それから人権教育という言葉になって、人権教育の啓発推進法が出来て、そしてこの会が2002年くらいに誕生しました。その間に意見書を出して、それをパンフレットに変えました。意見書だけでは現場の先生や市民に届かないということがあってパンフレットを作成するようになりました。それと市教委が主催しているブロック研を応援したいということで、視察をさせて頂いたり、私たち自身も勉強しないといけないということで、先進地の視察も毎年行かせてもらえるようにしました。そして私たちの提言の中で「じんけん講座」の内容を良いものにしてほしいということで、名称や講師の選び方、時期など提案しました。特に思い出が大きいのはパンフレットです。みなさんに原稿を作ってもらったりして力をいただきました。12回改訂をしています。宝物になりました。みなさんの協力がこの会が進められてきたことを大変嬉しく思います。市の規定の中に「委員を再任する場合は原則としてその在任期間が引き続き10年を超えないものとする」とあります。この推進委員会は最初、教育委員会の中の機関でしたが、2016年から市の付属機関になりました。この時から数えて10年を過ぎるともう出来ないということになります。私は来年度9年目になりますから2年ごとの任期ですので、もう選ばれることはありません。本当にいろいろお世話になってありがたかったという思いがすごく強いです。ありがとうございました。

事務局：2年間委員を務めていただきありがとうございました。みなさんがおっしゃられた通り、人権について再度学ばせていただいたと思います。みなさんがそれぞれの場所で人権啓発を進めていただいていることに本当に感謝しています。また今後、継続される方、離れる方おられると思いますが、またそれぞれの立場で人権教育を推進していただけたらと思います。2年間どうもありがとうございました。

委員長：それではこれで終わりたいと思います。お疲れ様でした。ありがとうございました。